

## 統計関連学会連合大会参加に関するアンケート

次の各質問について、あなたのお考えに一番近いと思われる選択肢に をつけて下さい。

Q1. これまでの統計関連学会連合大会に参加したことがありますか

1. ある

→ 参加した年度に をつけてください(いくつでも)

2002年度、2003年度、2004年度

2. ない

→ 参加しなかった理由をお聞かせください。

(理由: )

Q2. 統計関連学会との連合として開催する以前(2001年以前)には、応用統計学会との同時期開催で年次大会を行なっていました。あなたはその合同年次大会に参加したことがありますか。

1. ほぼ毎回参加していた

2. ときどき参加していた

3. 参加したことがある程度

4. 全く参加していない→ 参加しなかった理由をお聞かせください。

(理由: )

Q3. 今年度(2005年度)の広島での統計関連学会連合大会に参加しますか

1. 参加する予定

2. 参加しない予定

→ 参加しない理由をお聞かせください。

(理由: )

Q4. 2006年度の統計学会連合大会参加はすでに決定されておりますが、2007年度に統計関連学会連合大会が開催される場合、日本計量生物学会の参加についてご意見をお聞かせ下さい。(どれか1つに をつけて下さい)

1. 参加した方がよい。

2. 参加しない方がよい。

3. どちらでもよい

次のページへ つづく

Q5. 統計関連学会連合大会への参加について、いろいろな意見があるかと思えます。計量生物学会が連合大会として参加することのメリット・デメリットについて、それぞれ、ご意見をお聞かせください。(いくつでも)

**【メリット】**

1. 連合大会の方が統計科学の重要性・必要性などを社会にアピールできる。
2. 連合大会の方が他の類似の方法論、トピックスなどの講演が聴ける。
3. その他(具体的に下記にお書きください)

**【デメリット】**

1. 連合大会になると大会期間が長くなる。
2. 計量生物学のセッションだけを集中してきけない、他の学会の発表には興味がない。
3. 計量生物学会の独自性がなくなる。
4. その他(具体的に下記にお書きください)

Q6. 今後、統計関連学会連合大会に参加することに関して、参加頻度についてどのようにお考えでしょうか。

1. 毎年
2. 1年おきの参加とする
3. 2年おきの参加とする
4. その他(具体的に )

次のページへ つづく

Q7. 今後、計量生物学会の年次大会をどのように行うのが一番望ましいですか。

1. 年次大会は行わない。
2. 年次大会を計量生物学会の単独で行う。
3. その他（具体的に \_\_\_\_\_ ）

Q8. 毎年応用統計学会と開催時期を合わせて行われている計量生物学会シンポジウムがありますが、年次大会との違いについてどのようにお考えですか。

Q9. その他、何でも結構ですので、ご意見をお聞かせ下さい。

Q10. 最後にあなたご自身についてお答え下さい。

S1. あなたは次のどの学会に所属していますか（いくつでも）

- |             |           |              |
|-------------|-----------|--------------|
| 1. 日本計量生物学会 | 2. 応用統計学会 | 3. 日本計算機統計学会 |
| 4. 日本行動計量学会 | 5. 日本統計学会 | 6. 日本分類学会    |

S2. 性別

1. 男性    2. 女性

S3. 年齢

1. 29歳以下    2. 30歳代    3. 40歳代    4. 50歳代    5. 60歳以上

S4. 職業

- |               |                 |         |
|---------------|-----------------|---------|
| 1. 大学・大学院等の教職 | 2. 研究機関の研究者     | 3. 民間企業 |
| 4. 学生         | 5. その他（ _____ ） |         |

----- キ リ ト リ -----

S5. お名前をご記入ください。

（ \_\_\_\_\_ ）

ご協力、ありがとうございました。